

房官十人 乘院御馬有居飼

嚴勝 大進上座 雅信孫

祐賢 法上總上座 法眼顯真弟子

靜緣 中納言上座 宗緣弟子

任尊 參河上座 長玄弟子

證念 相模寺主 法橋寬實弟子

行賢 大藏卿寺守 下野前司有國子

教賢 大夫都維那 兵衛佐隆教子云々

覺經 三位都維那 前駿河守俊雅子

實暹 備前公 皇備后宮亮顯憲子

章尊 侍從公 法橋靜玄弟子

次有職非職廿人

覺朝 辨阿闍梨 木工權頭季兼息

寬昭 伯阿闍梨 伯大夫顯章息

寬經 大夫阿闍梨 甲斐守宗賢息

俊遍 宰相阿闍梨 民部少輔延俊息

隆遍 辨阿闍梨 權右中辨光房朝臣息

隆信 大納言阿闍梨 土御門内府息

祐尊 法橋長尊弟子 中納言阿闍梨

任性 中納言阿闍梨 上野守信盛息

任雅 中納言賴祐男

實信 大夫阿闍梨 大納言公經息

直賢 大夫阿闍梨 左京大夫阿闍梨範猶弟子

成守 大納言阿闍梨 大納言成親息

源輝 侍從阿闍梨 法印靜賢弟子

範賢 右衛門督阿闍梨 中納言成範息

行守 大夫阿闍梨 前大夫和泉守隆行息

信玄 亮公 大宮權亮成隆息

顯性 三位公 顯性三位阿闍梨長賢弟子

覺緣 大夫公 法橋宗緣子

範耀 參河公

隆暹 已上非職

〔榮花物語十九卷〕四月三日○治安 十日御堂に万燈會させ給はんとおほして○中 其日になりて○

略 世の中の聖ごもさながらまいりたりかものまつりの一でうの大路にだにいできての、し  
る、せんあみだ佛といふほうしばらこゑをさ、げての、しる、

〔榮花物語二十卷〕五月○その日七月十一日になりぬれば、おんの御くるまに、さうぞくさせ給○中 御  
さきにそうばかりさきだて、あみだのひじりのなむあみだ佛ごくもくざうはるかにこゑう

ちあげたれば、さばかりかなしきことのもよほしなり、  
〔法然上人行狀畫圖十四〕大佛の上人俊乘房、○重源、俗 又一の意樂をおこして、我國の道俗炎魔王